

ライトレースロボットを作って、その周回タイムをみんなで競おう！

ミニマイコンカーラリーへの道



「ロボマガ」記者・城井田 かつひと 勝仁

第8歩 ラインセンサを前方に伸ばしてみた！

ミニマイコンカー製作キット Vol.1

価格 7,665円

文化総研のホームページ
(<http://www.bun-net.co.jp/>)
から購入可能

プログラム転送用の通信ケーブル
「通信用RS232Cケーブル(9Pプラグ付き)」は
714円(税込み)で別売り

購入に関する問合せ先

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4-112

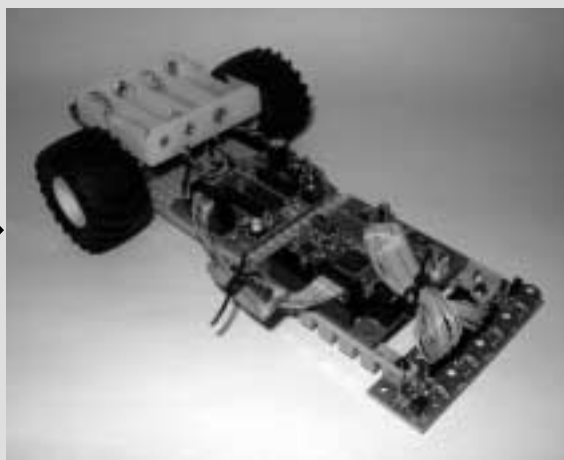
札幌A B Eビル2F

株式会社文化総研 通信販売担当 塩崎明子

TEL: 011-204-7112 FAX: 011-204-7113

E-mail: bunaki@cronos.ocn.ne.jp

ミニマイコンカー製作キットは、ライトレースロボットによる全国規模のロボコン「ジャパンマイコンカーラリー」から生まれた。工作キットの形で提供されるので、ライトレースロボットの初心者でも気軽に挑戦できるのが特長だ。走行プログラムを作るビジュアルコントロールソフト「プロっくん1号」(Windows 98/SE/Me/NT4.0/2000/XP対応)も付属するから、Windowsパソコンさえ手元があれば、すぐにもマイコンカーラリーの世界に入ることが可能である。



ミニマイコンカー製作キットには、パソコンとつなぐためのケーブルを除く、必要なすべての部品が含まれる。はんだ付け作業は必要だが、CPUボードやラインセンサは完成品が付属するので、組み立ての難易度はそれほど高くない。

ミニマイコンカー製作キットをマニュアルどおりに完成させると、このようになる。付属のWindowsパソコン用ソフト「プロっくん1号」を使えば、走行プログラムを作ることもできる(別売りのプログラム転送用通信ケーブルが必要)。

1. ミニマイコンカーのラインセンサの位置は変えられる

ミニマイコンカーは、ライトレースロボットである。プログラムしたいでは、普通に走らせることもできるが、ラインをなぞるように走るのが本当の姿だ。前方に突き出しているラインセンサは、そのためのものである。

このラインセンサだが、その位置を調整できるようになっている。アームのねじ止めする場所によっては、もっと前方にラインセンサが突き出すような形にもできるのである。

ミニマイコンカー開発のきっかけともな

ったロボコン「ジャパンマイコンカーラリー」では、ラインセンサが前方に大きく突き出すライトレースロボットが大半を占めている。できるだけ先のコースを知ることが、より速く正確に走らせることにつながると思われるからだ。